

【議案第 39 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 4 号

さば割クーポンの発行額を約 2 倍 (6,500万円)に増やした理由は？

説明 6月補正に引き続き、市内小規模店で利用できるさば割クーポンを年末にかけて追加発行することで、長期化するコロナ禍において、原材料および燃料高、物価高に苦慮する事業者や市民に対し、切れ目のない支援を行う。

問 6月の補正額と比べ、今回は約2倍の補正額とした理由は。

答 利用者からは、クーポンが取りにくいいため、増数を希望する声が寄せられている。また、クーポン利用対象の約 370 店舗のうち、300 店舗以上で幅広く利用されており、事業者からも、発行継続の要望があるため増額した。

問 対象店舗のうち、約70店舗については、クーポンの効果が得られていないことになる。満遍なく恩恵を受けられるよう検討してほしい。

答 利用の形態について、データ化できるものは分析し、結果を活用していく。
また、鯖江商工会議所とも連携し、経営指導も含め、きめ細やかに支援をしていきたい。

意見 6月補正では飲食店に限定したグルメクーポンも発行しているが、さば割クーポンに比べ利用率が低くなっている。今回は、さば割クーポンに一本化したことで利便性の向上が期待できる。



満遍なく恩恵が
行き渡るように

【議案第 39 号】 令和 4 年度鯖江市一般会計
補正予算 第 4 号

ラポーゼかわだ(約965万円)、 道の駅西山公園(約173万円)の 営業継続負担金とは？

説明 新型コロナウイルス感染拡大による利用者減少に伴う大幅な減収が続く中、燃料費や電力料金の値上げにより、今後も厳しい経営状況が続くことが予想される。そのため、年間の収支見込が、ラポーゼかわだでは約 1,929 万円のマイナス、道の駅西山公園では約 346 万円のマイナスとなることから、従業員の雇用維持や施設の管理運営を継続するため、年間の収支差額見込の 2 分の 1 相当額を今回の営業継続負担金とする。今後の実績を確認し、12 月補正にて、営業継続に必要な残りの負担金を検討する。

問 利用者減少による減収や燃料費や電気料金の高騰に対し、指定管理者はどのような営業努力を行っているのか。

答 仕入れの工夫や経費の節減等を行っている。

意見 赤字だから補てんするのではなく、指定管理者と協議し、営業努力を確認し、できる限り市の負担を軽減できる方法を検討してほしい。

答 指定管理者の営業努力や収支状況をしっかり確認し、市として働きかけを行っていく。

意見 ラポーゼかわだの黒字化には、新幹線開通を見据え、朝倉氏遺跡や恐竜博物館等を利用する観光客を取り込むアイデアを打ち出す等、営業努力をしていくことが必要ではないか。

答 関係団体とも連携しながら、誘客に向け積極的に取り組んでいきたい。



アイデアと営業努力で黒字化を